

2014年工・情報学部 第1問

1枚目/2枚

1 次の [ア] から [ネ] までの [ ] にあてはまる0から9までの数字を記入せよ。

(1)  $36 + 2\sqrt{155} = (\sqrt{\overset{3}{\text{ア}}\overset{1}{\text{イ}}} + \sqrt{\overset{5}{\text{ウ}}\overset{3}{\text{エ}}\overset{1}{\text{オ}}})^2$  であり、  
 $\frac{1}{\sqrt{36+2\sqrt{155}}} + \frac{1}{\sqrt{36-2\sqrt{155}}} = \frac{\sqrt{\overset{1}{\text{カ}}\overset{3}{\text{キ}}}}{\dots}$  二重根号の問題と本質的に同じ  
 $(1) \sqrt{36+2\sqrt{155}} = \sqrt{31} + \sqrt{5}$   
 $\therefore 36 + 2\sqrt{155} = (\sqrt{31} + \sqrt{5})^2 //$

である。

(2) 放物線  $y = 4x^2 - 4kx + 5k^2 + 19k - 4$  が  $x$  軸の負の部分および正の部分と交わるような  $k$  の範囲は  $-\overset{4}{\text{ク}} < k < \frac{\overset{1}{\text{ケ}}}{\overset{5}{\text{コ}}}$  である。この範囲で  $k$  が動くとき、放物線  $y = 4x^2 - 4kx + 5k^2 + 19k - 4$  が切り取る  $x$  軸上の線分の長さの最大値は  $\overset{5}{\text{サ}}\sqrt{\overset{1}{\text{シ}}\overset{7}{\text{ス}}}$  である。

(3) 3桁の整数で3の倍数は、全部で  $\overset{4}{\text{セ}}$  個ある。3桁の整数で各位の数の和が  $k$  であるものの個数を  $n(k)$  とする (たとえば、3桁の整数で各位の数の和が2であるものは101, 110, 200の3個であるから、 $n(2) = 3$  である)。このとき、 $n(3) = \overset{6}{\text{ツ}}$ ,  $n(27) = \overset{1}{\text{テ}}$ ,  $n(24) = \overset{1}{\text{ト}}\overset{0}{\text{ナ}}$  であり、 $n(6) + n(9) + n(12) + n(15) + n(18) + n(21) = \overset{2}{\text{ニ}}\overset{8}{\text{ヌ}}\overset{3}{\text{ネ}}$  である。

(1) のつぎ。

$$\frac{1}{\sqrt{36+2\sqrt{155}}} + \frac{1}{\sqrt{36-2\sqrt{155}}} = \frac{1}{\sqrt{31} + \sqrt{5}} + \frac{1}{\sqrt{31} - \sqrt{5}} = \frac{(\sqrt{31} - \sqrt{5}) + (\sqrt{31} + \sqrt{5})}{(\sqrt{31} + \sqrt{5})(\sqrt{31} - \sqrt{5})} = \frac{\sqrt{31}}{13} //$$

(2)  $f(x) = 4x^2 - 4kx + 5k^2 + 19k - 4$  とおくと、 $f(0) < 0$  とおればよい。

$$\therefore f(0) = 5k^2 + 19k - 4 < 0 \text{ より。 } (5k-1)(k+4) < 0 \therefore -4 < k < \frac{1}{5} //$$

$f(x) = 0$  の解を  $\alpha, \beta$  ( $\alpha < \beta$ ) とおくと、解と係数の関係より。

$$\alpha + \beta = k, \quad \alpha\beta = \frac{5k^2 + 19k - 4}{4} \text{ とおけるので}$$

$$\begin{aligned} (\beta - \alpha)^2 &= (\alpha + \beta)^2 - 4\alpha\beta \\ &= k^2 - (5k^2 + 19k - 4) \\ &= -4k^2 - 19k + 4 \\ &= -4\left(k + \frac{19}{8}\right)^2 + \frac{425}{16} \end{aligned}$$

$\therefore \beta - \alpha$  (切りとる長さ) の最大値は、  
 $k = -\frac{19}{8}$  のとき。

$$\sqrt{\frac{425}{16}} = \frac{5\sqrt{17}}{4} //$$



2014年工・情報学部第1問

2枚目/2枚

1 次の [ア] から [ネ] までの [ ] にあてはまる0から9までの数字を記入せよ。

(1)  $36 + 2\sqrt{155} = (\sqrt{[ア][イ]} + \sqrt{[ウ]})^2$  であり、

$$\frac{1}{\sqrt{36 + 2\sqrt{155}}} + \frac{1}{\sqrt{36 - 2\sqrt{155}}} = \frac{\sqrt{[エ][オ]}}{[カ][キ]}$$

である。

(2) 放物線  $y = 4x^2 - 4kx + 5k^2 + 19k - 4$  が  $x$  軸の負の部分および正の部分と交わるような  $k$  の範囲は  $-[ク] < k < \frac{[ケ]}{[コ]}$  である。この範囲で  $k$  が動くとき、放物線  $y = 4x^2 - 4kx + 5k^2 + 19k - 4$  が

切り取る  $x$  軸上の線分の長さの最大値は  $\frac{[サ]}{[シ][ス]}$  である。

(3) 3桁の整数で3の倍数は、全部で [ソ][タ][チ] 個ある。3桁の整数で各位の数の和が  $k$  であるものの個数を  $n(k)$  とする (たとえば、3桁の整数で各位の数の和が2であるものは101, 110, 200の3個であるから、 $n(2) = 3$  である)。このとき、 $n(3) = [ツ]$ ,  $n(27) = [テ]$ ,  $n(24) = [ト][ナ]$  であり、 $n(6) + n(9) + n(12) + n(15) + n(18) + n(21) = [ニ][ヌ][ネ]$  である。

(3) 3桁の3の倍数は、 $3 \times 34, 3 \times 35, \dots, 3 \times 333$  70個

$$333 - 34 + 1 = \underline{300} \text{個}$$

各桁の和が3のもの... 111, 120, 102, 201, 210, 300

$$\therefore n(3) = \underline{6}$$

各桁の和が27のもの... 999  $\therefore n(27) = \underline{1}$

24のもの... 699, 969, 996, 789, 879, 897, 798, 987, 978, 888  $\therefore n(24) = \underline{10}$

3桁の3の倍数は各桁の和が3の倍数になるので、

$$300 = n(3) + n(6) + n(9) + \dots + n(21) + n(24) + n(27)$$

$$\text{これより、} n(6) + n(9) + \dots + n(21) = 300 - n(3) - n(24) - n(27)$$

$$= 300 - 6 - 10 - 1$$

$$= \underline{283}$$